

校長室だより  
NO. 31  
令和元年10月21日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 学芸会で子どもを育てることに思いを高める教師集団

いよいよ今週末の10月26日(土)に本校の令和元年度の学芸会が迫ってきました。9月後半より各学級・学年で徐々に練習を始め、先週には試演会を終え、どの学級・学年も最後の仕上げという段階となってきました。今週は24日(木)に校内学芸会が予定されています。子どもたちが他学級・学年の演技を見合う中で、さらに力を合わせて、生き生きとしたものを創り上げてほしいものです。

そのために、本校の教師集団は、学芸会に向けて、子どもの成長の姿を明確にし、そして願い、それを指導の中で具現化してきました。そのことが、次に示す教師の指導記録からも分かります。学芸会は、本番だけでなく練習から子どもの学びの場となっています。



### ○ 6年の学級担任の指導記録より

チャレンジの学芸会です。私は、6月頃からどうして1年「おしゃべりなたまごやき」の練習風景もこの劇、戦争を扱った劇を取り上げて指導してみたいと思っていました。その何がチャレンジだったかと言いますと、やや消極的な女の子がいる私の学級で、女の子を主人公とした劇を行おうと決断したことです。日頃は、元気な男の子達が学級の楽しい雰囲気を作り、盛り上げてくれる学級ですが、学芸会では普段はあまり前に出られない女の子が輝く機会、自信を持って成長していく機会になればいいなと思っていました。女の子は私のその気持ちに伝えようと本当によくがんばってくれています。主役のオーディションには全員が参加しました。劇の練習がたるんできたなと思ったときには、「○○さんの演技を見て。○○さんの演技に伝えてあげようよ」などと声をかけると、学級の皆の気持ちが心1つになってきました。この学芸会を機に、女の子たちが自信を持って生活できることを願っています。授業の発言、実行委員やありんこ長などの立候補へ、そんな姿につながってほしいです。

### ○ 5年の学級担任の指導記録より

いろいろな思いを込めて「ライオンキング」を提案しました。4月からとっても素直で優しく、まっすぐ前向きにいろいろなことに取り組むことができるところが、今の5年生のよさと思っています。だからこそ、このパワーを発揮でき、全力で取り組めるライオンキングがよいと思いました。反対に、自分のことに責任を持ってない、周りの子を見てから行動するというあまりよくない面があるとも思っていたので、ライオンキングの1つのテーマになっている「自分の役割を果たす」ことや、「一人一人の存在が大きな輪になる」ということを感じてほしいと思い、学年の先生と相談して、一人一人にできるだけ細かい役割があるようにしています。学年だからみんな一緒というのも大

事ですが、その中で、一人一人が自分の役割を果たすということができるようになってほしいと思って指導に当たっています。周りの子が動いてから動くのではなく、自分で考えて動くことができるようになってほしいと思っています。さらに、もともと音楽は好きな子どもたちとしましたので、ただ歌うのではなく、その役になり切って歌詞の意味を理解して歌ったり、曲調やリズムまで感じて表現してたりすることを願っています。練習が進む中で、全体像が見えてきましたので、子どもたちがビデオを見合ったりしながら、自分たちで創り上げていく学芸会になるように、これから工夫していきたいと思っています。

#### ○ 2年の学級担任の指導記録より

私の学級の学芸会の目標は、子どもたちが観客の方々に意識して、笑ってもらえる、楽しんでもらえる劇にすることを第一にして考えて指導に当たっています。そのための具体的な目標として、①せりふや動きを自分なりに考えて、自信を持って、観客の方に伝わる演技をすること。②タイミングよく、友達の演技に応じた演技、効果音を心がけること。③劇を成功させるために、明るく元気に協力の心で、学級みんなで盛り上げること。これらのことを念頭に置いて取り組んできました。劇の練習をする前後には、今日の自分のめあてと反省の確認、友達からのアドバイスを聞く時間をとるように努めています。子どもが、個々に自主的に演技を見つめ工夫して、心が育つ学芸会の練習・本番となるように考えています。



3年「ぼくらの転校生、ロボくん」の練習風景

まず、6年の学級担任の記録からは、この学芸会を通して、普段からやや消極的であった女子の成長を願い、意図的に取り組んでいることが分かります。もちろん男子も考えてはいると思うのですが、焦点を明確にして取り組んでいます。言うなれば、1点突破、全面展開なのです。学芸会の内容、取り組み方等の工夫により、教師の願いに子どもたちも応えようとする姿が文の中から伝わってきます。そのような成長が、次の生活に生かされることが楽しみです。

5年の学級担任の指導記録からは、子どものよさや足りなさを捉えることにより、学芸会で目指すものを明確にしています。それは、「自分の役割を果たす」ことであり、「一人一人の存在が大きな輪になる」ことを感じさせることにあります。そのためには、「ライオンキング」が最適と考えて選定しています。そこには、自分たちで創り上げる学芸会にしようと、陰で支える教師集団の姿が見えてきます。

2年の学級担任の指導記録からは、観客の方々という相手意識になって考えることができるようにしたいという教師の思いが分かります。そのことは、3つの具体的な方策からも伝わってきます。練習の中で、子ども自身のめあてと反省を確かめたり、互いにアドバイスをし合ったりするを通して、自分自身を見つめ直すことができるようにしています。そのような中で子どもの心は育っていくのですね。

このような指導記録により、学芸会本番、またその中で見られ子どもの成長の姿がとても楽しみになります。是非ともご期待ください。裏面は簡単なプログラムです。

○ 学芸会のプログラム

午前の部

1	音楽劇	「おしゃべりなたまごやき」	1 年
2	劇	「おぼけじぞう」	2年4組
3	劇	「REFRAME」	6年3組
4	劇	「十月の花火」	2年2組
5	歌	「楽しく歌ってハーモニー」	PTAコーラス
6	劇	「太陽のうた」	4年4組
7	劇	「カレーライスものがたり」	2年1組
8	劇	「ユタとふしぎな仲間たち」	6年2組
9	劇	「塔の上のラプンツェル」	4年1組
10	劇	「わらしべ長者」	2年5組
11	音楽	「ひびけ 梅園ハーモニー」	音楽部

午後の部

12	音楽劇	「ぼくらの転校生、ロボくん」	3 年
13	劇	「本当の宝ものは」	4年2組
14	劇	「冒険者たち」	6年1組
15	劇	「11ぴきのねことあほうどり」	2年3組
16	劇	「ものぐさ太郎」	4年3組
17	音楽劇	「ライオンキング」	5 年
18	劇	「うしろの正面だあれ」	6年4組

○ 学芸会の各学級・学年の所要時間

◇ 午前の部

開場 8時25分  
開演 8時40分

◇ 午後の部

開場 12時35分  
開演 12時50分

◇ 各学級・学年の所要時間

・ 1年の音楽劇の時間	15分
・ 2年の1学級当たりの劇の時間	14分
・ 3年の音楽劇の時間	16分
・ 4年の1学級当たりの劇の時間	15分
・ 5年の音楽劇の時間	19分
・ 6年の1学級当たりの劇の時間	19分

◇ その他

- ・ 劇と劇の幕間は4～8分を予定しています。
- ・ プログラムから各学級・学年の劇の時刻を算定してください。プログラムの詳細は改めて配付します。
- ・ できるだけ早めにお越しいただき、他の学級・学年の演技もご覧いただければ幸いです。



5年「ライオンキング」の練習風景